

4 喫煙

目指すまちの姿4

**喫煙や受動喫煙による
健康被害を防止するまち**

～喫煙が及ぼす健康影響等の知識を正しく身につけ、
自分とまわりの人の健康を守りましょう！～

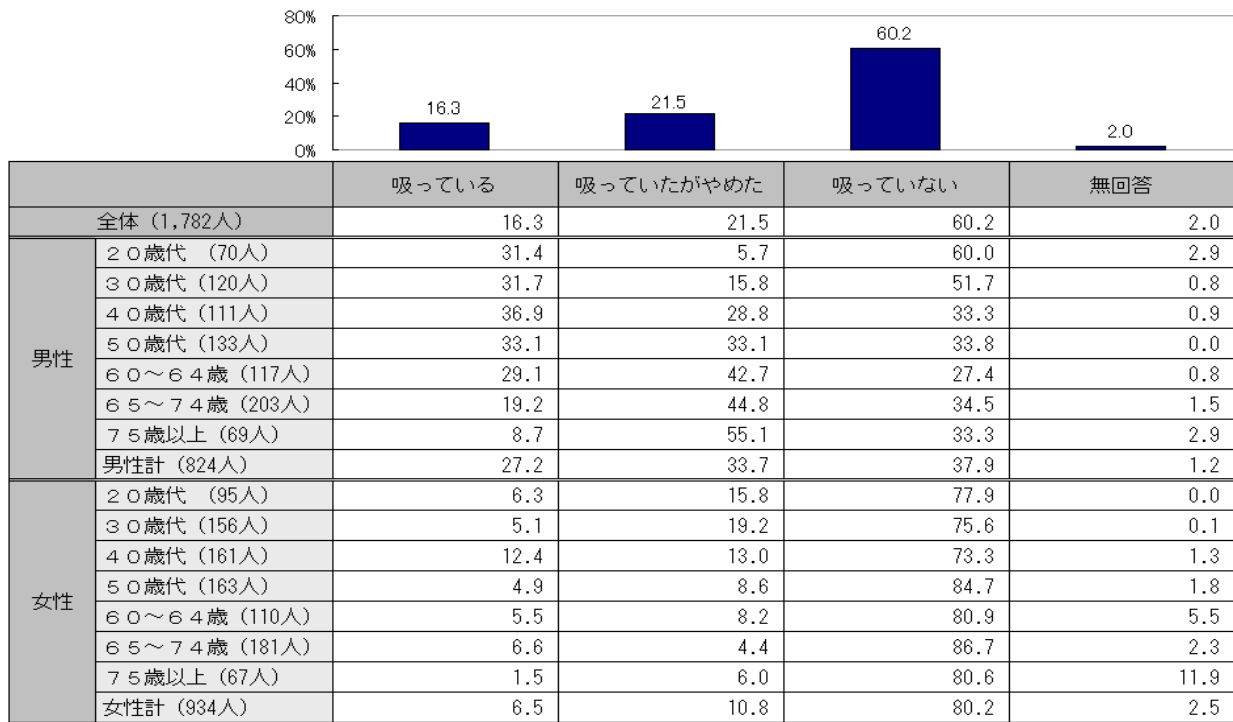
1 柏市の現状及び健康課題

喫煙に関する「柏市の現状」から、「柏市の健康課題」を抽出します。

柏市の現状データ ①

◆喫煙状況（喫煙率）

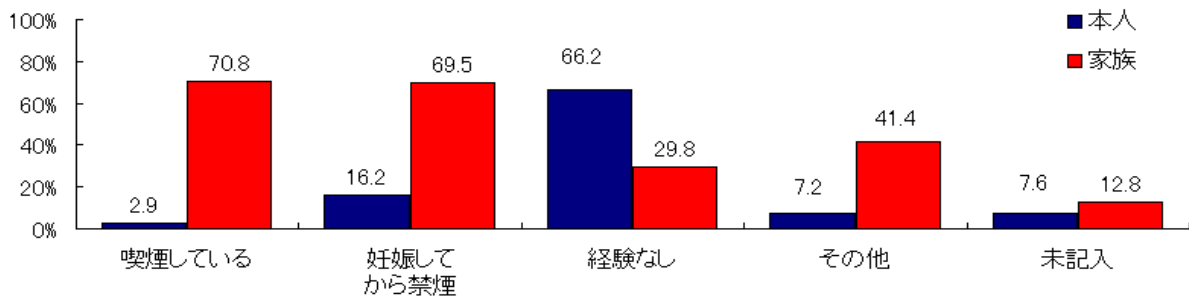
図28 成人の喫煙状況（平成23年度）



「平成23年度 柏市民健康意識調査等結果報告書」

- ・喫煙率については、16.3%（男性27.2%、女性6.5%）です。
- ・男性の喫煙率が、20歳代～60歳代前半で29.1～36.9%と同程度であるのに対し、女性の喫煙率は、40歳代が12.4%、他の年齢層が4.9～6.3%であり、40歳代が高くなっています。

図29 妊婦の喫煙状況（平成23年度）



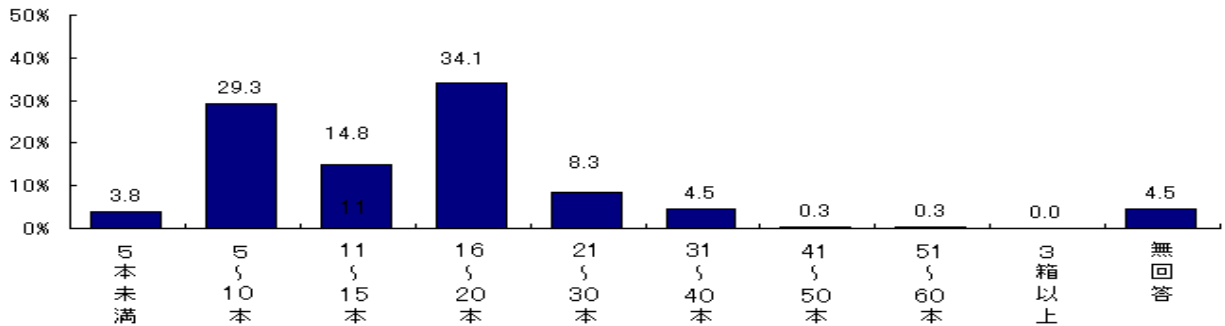
「平成23年度 妊娠届出書統計」届出件数：3,695件

- ・妊婦本人の喫煙率については、2.9%です。
- ・まわりの家族等の喫煙率は、妊婦本人が喫煙している場合に70.8%、妊婦本人が妊娠してから禁煙している場合に69.5%と高くなっています。

◆喫煙状況（喫煙本数）

図30 成人の喫煙者の1日平均喫煙本数（平成23年度）

※16.3%の禁煙者が回答

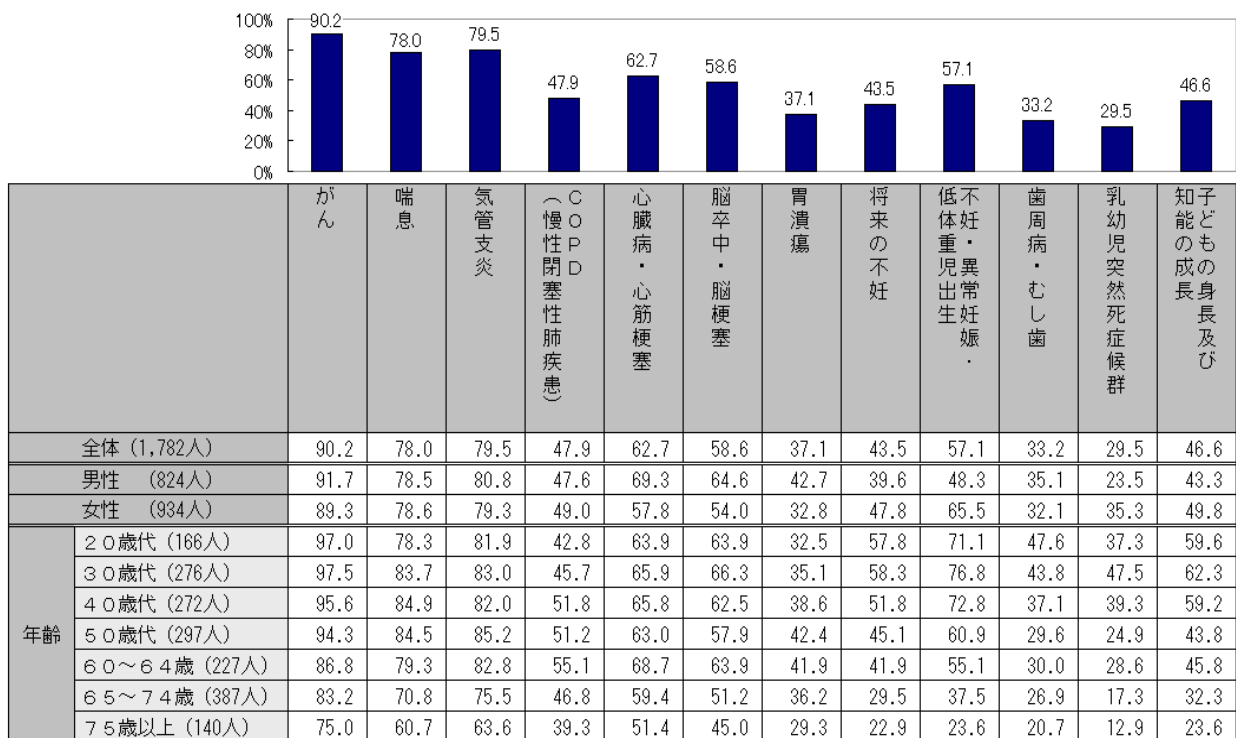


「平成23年度 柏市民健康意識調査等結果報告書」回答者数：1,782人

・1日平均喫煙本数については、「16〜20本」が34.1%で最も多く、5〜20本が全体の約8割を占めます。

◆喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識状況

図31 成人の健康影響に関する認識状況（平成23年度）



「平成23年度 柏市民健康意識調査等結果報告書」

・喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識については、12項目中、「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」、「胃潰瘍」、「将来の不妊」、「歯周病・むし歯」、「SIDS（乳幼児突然死症候群）」、「子どもの身長及び知能の成長」の6項目についての認識率が半数を超えていません。

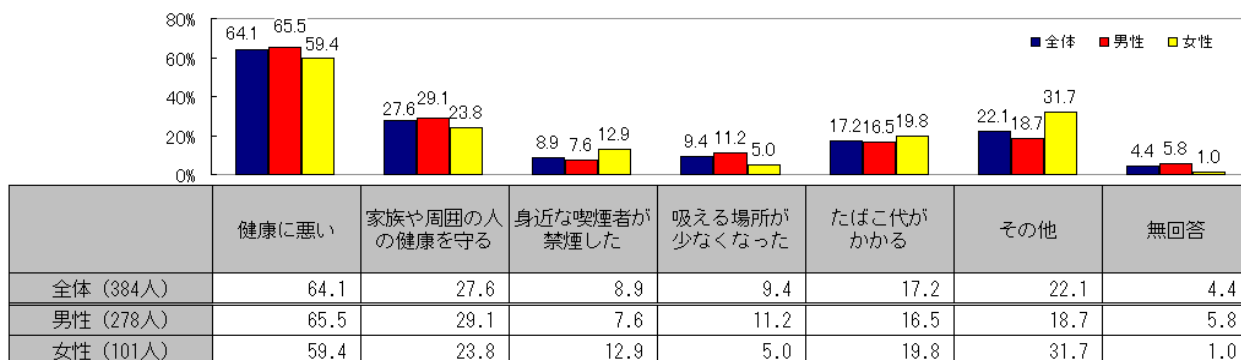
◆COPD（Chronic Obstructive Pulmonary Disease）

代表的な慢性呼吸器疾患の一つであり、慢性閉塞性肺疾患（まんせいへいそくせいはいしゅかん）と訳します。有毒な物質の吸入等、特に喫煙・受動喫煙がきっかけとなり、肺胞の破壊や気道炎症等を引き起こします。近年、死亡原因として世界中で急速に増加しており、また、今後も増加が加速すると予想されています。

◆たばこをやめたきっかけ・理由

図32 成人のたばこをやめたきっかけ・理由（平成23年度）

※2.1. 5%の禁煙達成者が回答



「健康に悪い」「家族や周囲の人の健康を守る」のいずれかを選択した人
＝「健康を理由とした人」

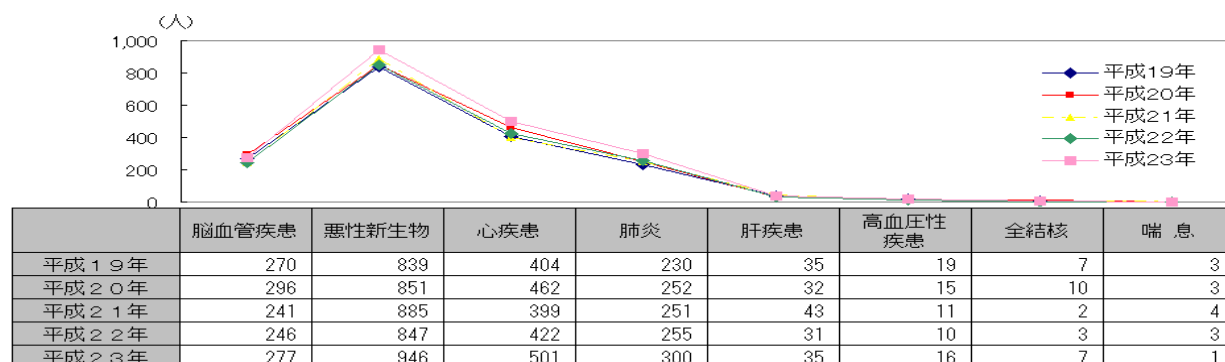
全体	72.1
男性	73.4
女性	68.3

「平成23年度 柏市民健康意識調査等結果報告書」回答者数：1,782人

・たばこをやめた人の、たばこをやめたきっかけ・理由については、「健康に悪い」、「家族や周囲の人の健康を守る」といった『健康』をきっかけ・理由とした割合が72.1%（男性73.4%、女性68.3%）です。

◆主要死因別死亡者数

図33 主要死因別死亡者数の推移（平成19～23年）

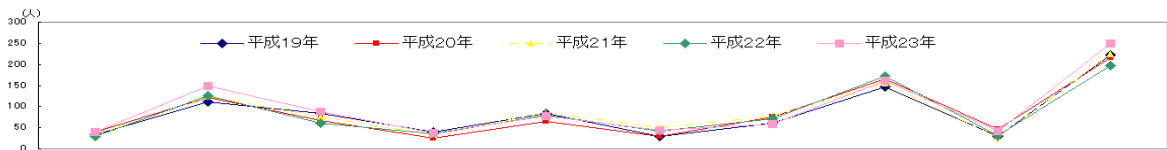


「千葉県衛生統計年報」

・平成23年の主要死因別死亡者数の割合については、死因となった各疾患のうち、がん（悪性新生物）が45.4%を占めています。

◆がん死亡者数

図34 がん〔部位別〕死亡者数の推移（平成19～23年）



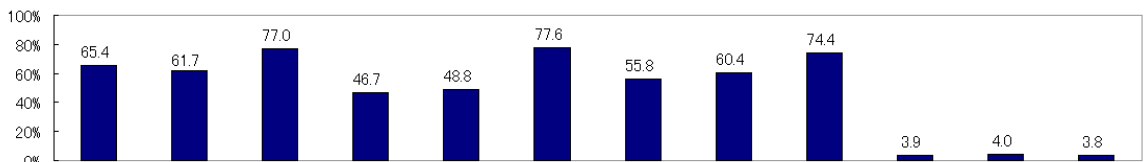
	食道	胃	結腸	直腸S状結腸 移行部及び 直腸	肝及び 肝内胆管	胆のう及びそ の他の胆道	膵	気管、気管支 及び肺	乳房	その他
平成19年	34	112	83	40	83	29	60	147	29	222
平成20年	40	122	68	26	64	29	75	165	46	216
平成21年	31	124	76	34	85	50	78	155	28	224
平成22年	30	126	60	35	80	42	71	173	32	198
平成23年	40	149	88	37	78	44	59	161	41	249

「千葉県衛生統計年報」

- ・がん死亡者数の割合については、「気管、気管支及び肺のがん（悪性新生物）」が17.0%、「胃のがん（悪性新生物）」が15.8%と非常に高くなっています。

◆分煙・禁煙が望ましい場所

図35 成人が分煙・禁煙が望ましいと思う場所（平成23年度）



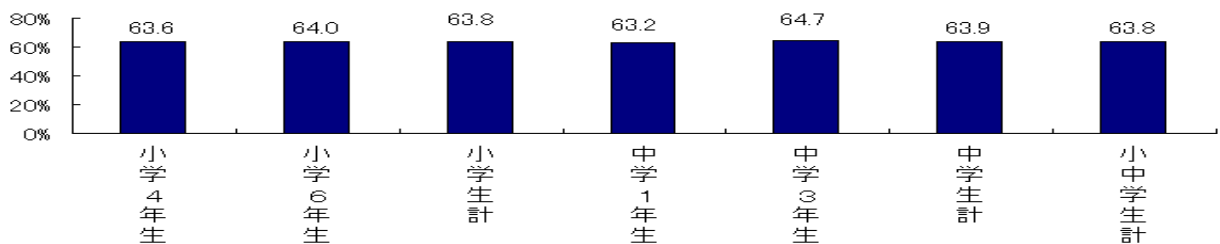
	職場	道路・歩道	飲食店	小売店舗	公園	医療施設	娯楽施設	宿泊施設	公共交通機関	その他	特になし	無回答
全体 (1,782人)	65.4	61.7	77.0	46.7	48.8	77.6	55.8	60.4	74.4	3.9	4.0	3.8
男性 (824人)	63.8	60.3	71.6	47.5	46.2	76.9	50.5	55.5	73.5	5.2	5.5	2.7
女性 (934人)	67.3	63.3	82.1	46.4	51.2	78.4	60.6	65.0	75.2	2.9	2.6	4.5

「平成23年度 柏市民健康意識調査等結果報告書」

- ・分煙・禁煙が望ましい場所については、「医療施設」77.6%（男性76.9%、女性78.4%）、「飲食店」77.0%（男性71.6%、女性82.1%）、「公共交通機関」74.4%（男性73.5%、女性75.2%）、「職場」65.4%（男性63.8%、女性67.3%）、「道路・歩道」61.7%（男性60.3%、女性63.3%）、「宿泊施設」60.4%（男性55.5%、女性65.0%）などです。

◆小学生・中学生を取り巻く周囲の喫煙環境（周囲で喫煙する大人の有無）

図36 小学生・中学生の周囲で喫煙する大人の存在率（平成20年度）



「平成20年度 柏市小中学生へのタバコに関するアンケート調査報告書」 回答者数：小学生7,072人、中学生6,114人

- ・小学生・中学生を取り巻く周囲の喫煙環境については、全体の63.8%（小学生63.8%、中学生63.9%）の小学生・中学生の周囲に喫煙する大人がいます。

柏市の現状から課題抽出

柏市の健康課題 ①

喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及

各種健康被害を未然に防ぐために、市民が喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識をより身につける必要があります。

柏市の健康課題 ②

受動喫煙の防止

各種健康被害を未然に防ぐために、受動喫煙の害から非喫煙者を守る必要があります。

《課題となる背景・理由》

- 現状データの特徴から、以下の点が明らかに
 - ・喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識に偏りがあり、不十分であること
 - ・喫煙・受動喫煙が妊娠・出産・子育てに及ぼす健康影響に関する知識が、総じて不十分であること
 - ・禁煙達成者のたばこをやめたきっかけ・理由の7割以上が「健康」によるものであることから、喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識をより身につけることで、たばこをやめるきっかけ・理由となりえること
 - ・喫煙者、非喫煙者を問わず、不特定多数の者が利用する場所について、禁煙・分煙が望ましいとの意識を持っていること
- COPD（慢性閉塞性肺疾患）が、死亡原因として今後急速に増加が予想されること
- 健康増進法において、多数の者が利用する施設を管理する者に対し、受動喫煙防止のための措置を講じることが、努力義務として規定されていること

柏市の現状データ ②

◆喫煙状況（喫煙率）

【再掲】図28【成人の喫煙状況（平成23年度）】（P50）参照

【再掲】図29【妊婦の喫煙状況（平成23年度）】（P50）参照

【再掲】図30【成人の喫煙者の1日平均喫煙本数（平成23年度）】（P51）参照

◆喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識状況

【再掲】図31【成人の健康影響に関する認識状況（平成23年度）】（P51）参照

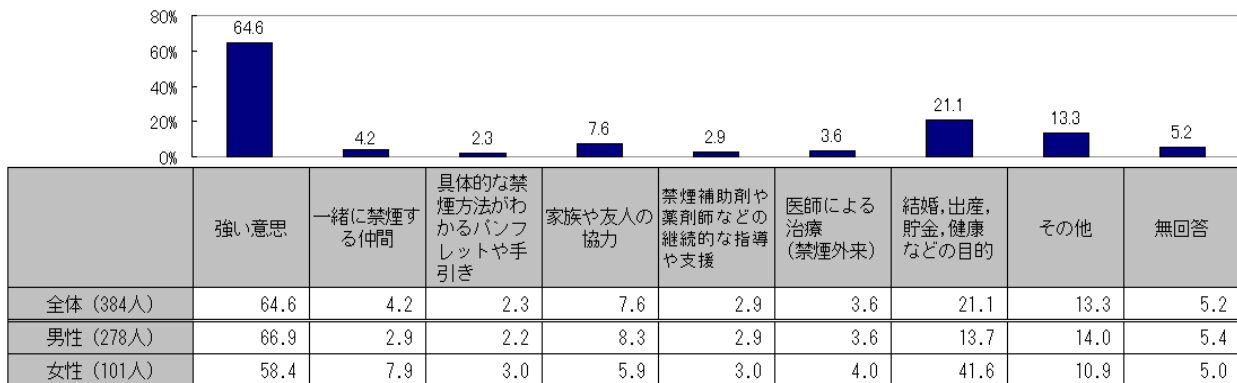
◆たばこをやめたきっかけ・理由

【再掲】図32【成人のたばこをやめたきっかけ・理由（平成23年度）】（P52）参照

◆たばこをやめるために必要なもの

図37 成人がたばこをやめるために必要なもの（平成23年度）

※21. 5%の禁煙達成者が回答

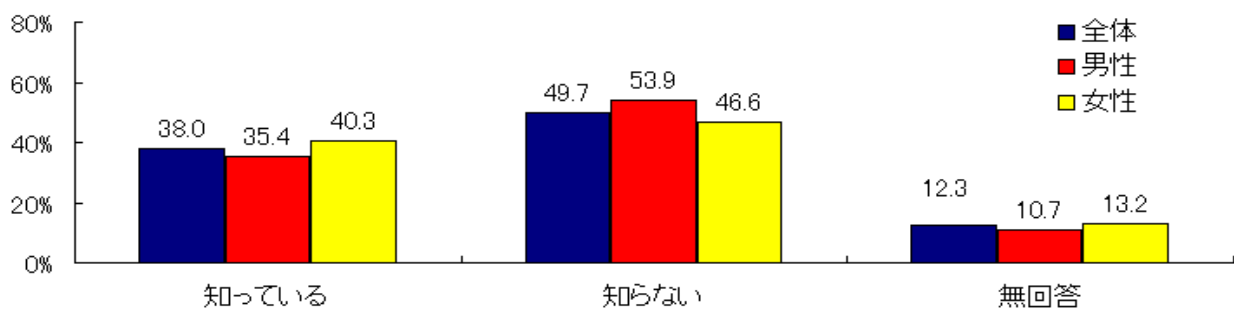


「平成23年度 柏市民健康意識調査等結果報告書」回答者数：1,782人

・たばこをやめた人の、たばこをやめるために必要なものについては、「強い意思」64.6%（男性66.9%、女性58.4%）が圧倒的で、次いで「結婚、出産、貯金、健康などの目的」21.1%（男性13.7%、女性41.6%）となります。

◆禁煙外来における保険適用に関する認知度

図38 成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率（平成23年度）



「平成23年度 柏市民健康意識調査等結果報告書」回答者数：1,782人

・禁煙外来における保険適用に関する認知度については、認知率が50%に達していません。

柏市の現状から課題抽出

柏市の健康課題 ③

禁煙の支援

喫煙者の減少を図るため、禁煙を希望する人に対する禁煙支援体制整備を強化する必要があります。

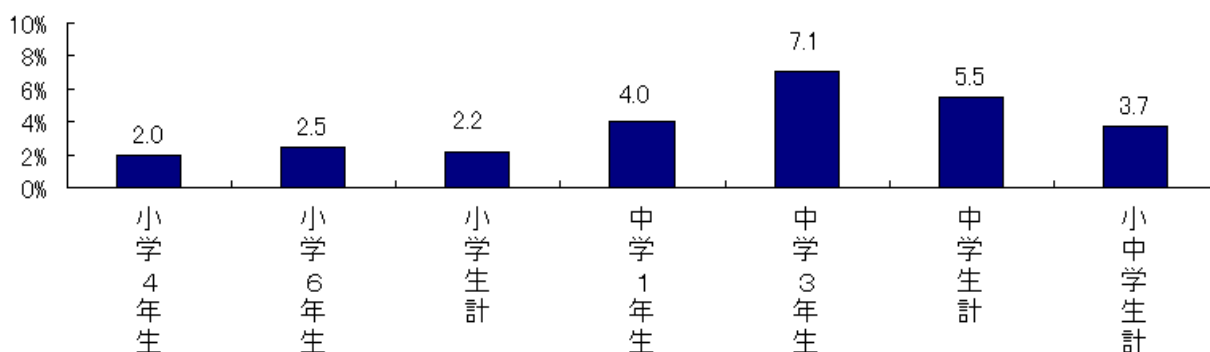
《課題となる背景・理由》

- 現状データの特徴から、以下の点が明らかに
 - ・禁煙に必要なものとして、「自分の意思及び環境に関するもの」が約8割、「他者の支援及び協力」が約2割であり、「他者の支援及び協力」にあたる禁煙支援体制整備を強化することで、より効果的かつ確実な禁煙が期待できること
 - ・禁煙外来における保険適用に関する認知度が低いこと
- 喫煙を一旦習慣化させると、「やめようと思っても、やめられない」といった依存性が生じること

柏市の現状データ ③

◆小学生・中学生の喫煙経験状況（喫煙経験率）

図39 小学生・中学生の喫煙経験率（平成20年度）

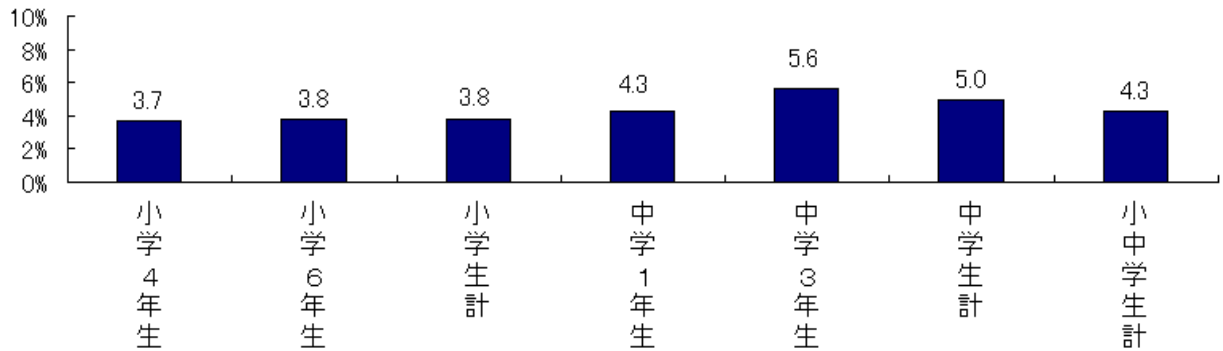


「平成20年度 柏市小中学生へのタバコに関するアンケート調査報告書」回答者数：小学生7,072人，中学生6,114人

- ・小学生・中学生の喫煙経験率については、3.7%（小学生2.2%，中学生5.5%）です。

◆小学生・中学生の喫煙への意識（喫煙願望率）

図40 小学生・中学生の喫煙願望率（平成20年度）

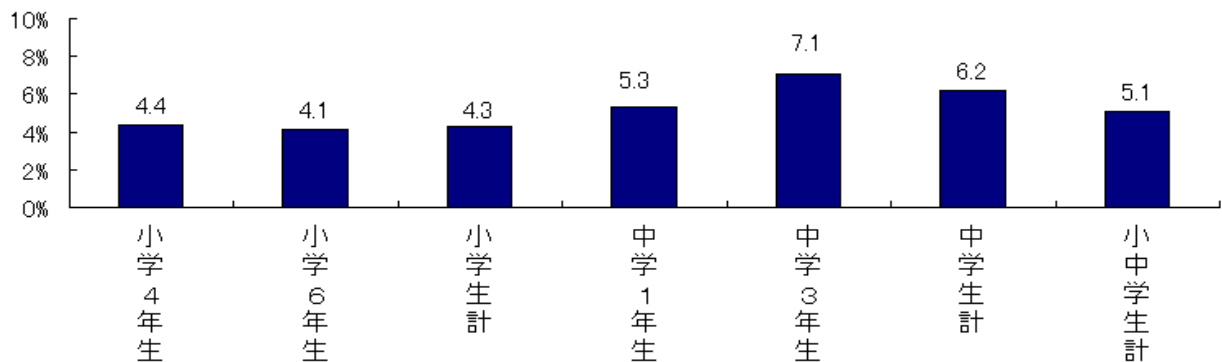


「平成20年度 柏市小中学生へのタバコに関するアンケート調査報告書」回答者数：小学生7,072人，中学生6,114人

・小学生・中学生の喫煙願望率については、4.3%（小学生3.8%，中学生5.0%）です。

◆小学生・中学生の喫煙への意識（将来の予想喫煙率）

図41 小学生・中学生の将来の予想喫煙率（平成20年度）



「平成20年度 柏市小中学生へのタバコに関するアンケート調査報告書」回答者数：小学生7,072人，中学生6,114人

・小学生・中学生の大人になってからの予想喫煙率については、5.1%（小学生4.3%，中学生6.2%）です。

◆小学生・中学生を取り巻く周囲の喫煙環境（周囲で喫煙する大人の有無）

【再掲】図36【小学生・中学生の周囲で喫煙する大人の存在率（平成20年度）】
（P53）参照

柏市の現状から課題抽出

柏市の健康課題 ④

未成年者の喫煙防止

将来を担う未成年者の健康被害を未然に防ぐため、喫煙習慣につながる喫煙経験を、未成年者にさせない必要があります。

《課題となる背景・理由》

- 現状データの特徴から、以下の点が明らかに
 - ・未成年者（9～15歳）に喫煙経験者がいること
 - ・未成年者（9～15歳）に喫煙願望者がいること
 - ・周囲に喫煙する大人がいる小学生・中学生の喫煙経験率が高いこと
- 喫煙を一旦習慣化させると、「やめようと思っても、やめられない」といった依存性が生じること【再掲（P56）】
- 未成年のうちに喫煙習慣が身につけてしまった人は、大人になってから喫煙を開始した人に比べ、生活習慣病を発症するリスクが高まることが示されていること
- 未成年の喫煙及び喫煙経験の動機としては、「好奇心」や「周囲の影響」等が考えられ、喫煙が及ぼす健康影響に関する知識を身につけることで、「好奇心」や「周囲の影響」に流されない意識を低年齢のうちから持つことが必要であること

柏市の健康課題

- 1 『喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及』
- 2 『受動喫煙の防止』
- 3 『禁煙の支援』
- 4 『未成年者の喫煙防止』

2 柏市の健康目標

「柏市の健康課題」に対し、「柏市の健康目標」を定め、また各健康課題に対応した目標値を定めます。

健康目標

健康課題の解消に向けた取り組みを積極的に行い、
『喫煙や受動喫煙による健康被害を防止するまち』を目指します。

目標値

1 『喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及』

指 標		現状値 (平成23年度)	目標値 (平成34年度)
喫煙率	成人全体	16.3%	12%以下
	成人男性	27.2%	20%以下
	成人女性	6.5%	5%以下
妊婦	本人	2.9%	0%
	まわりの家族等	36.9%	27%以下
喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識をもつ成人の割合	がん	90.2%	100%
	喘息	78.0%	
	気管支炎	79.5%	
	COPD（慢性閉塞性肺疾患）	47.9%	
	心臓病, 心筋梗塞	62.7%	
	脳卒中, 脳梗塞	58.6%	
	胃潰瘍	37.1%	
	将来の不妊	43.5%	
	不妊, 異常妊娠, 低体重児出生	57.1%	
	歯周病, むし歯	33.2%	
	SIDS（乳幼児突然死症候群）	29.5%	
子どもの身長及び知能の成長	46.6%		

2 『受動喫煙の防止』

指 標		現状値 (平成23年度)	目標値 (平成34年度)
受動喫煙の機会を有する人の割合	行政機関	0%	維持
	医療機関	—	0%
	職場	—	減少
	家庭	—	3%
	飲食店	—	15%

3 『禁煙の支援』

指 標		現状値 (平成23年度)	目標値 (平成34年度)
禁煙達成率	成人全体	21.5%	27%以上
	成人男性	33.7%	42%以上
	成人女性	10.8%	14%以上
	妊婦	16.2%	100%
成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率		38.0%	100%

4 『未成年者の喫煙防止』

指 標		現状値 (平成20年度)	目標値 (平成34年度)
喫煙経験率	小学生（6年生）	2.5%	0%
	中学生（3年生）	7.1%	
	高校生（3年生）	—	
喫煙願望率	小学生（6年生）	3.8%	0%
	中学生（3年生）	5.6%	
	高校生（3年生）	—	
周囲で喫煙する大人の存在率	小学生（6年生）	64.0%	48%以下
	中学生（3年生）	64.7%	48%以下
	高校生（3年生）	—	減少

3 柏市の健康目標を達成するための取り組み

「柏市の健康目標」を達成するため、次の取り組みを積極的かつ効果的に推進していきます。

- ① 喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及
- ② 受動喫煙の防止
- ③ 禁煙の支援
- ④ 未成年者の喫煙防止

市民が喫煙や受動喫煙による健康被害にあわないよう、教育・啓発・相談・指導・環境整備等を行います。

市，地域，学校，職場，企業等	<ul style="list-style-type: none"> ●たばこの害について，正しい知識を普及啓発します。 ●地域における啓発活動（各種出前講座，各種講演会等） ●受動喫煙防止対策を推進します。 ●喫煙ルールについての正しい知識を普及啓発します。
市，地域，職場，企業等	<ul style="list-style-type: none"> ●各種母子保健事業において，妊婦や子どもに対する喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響についての正しい知識を普及啓発します。

市, 学校, 地域等	<ul style="list-style-type: none"> ●学童期（概ね6歳～）から，喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響についての正しい知識の教育・啓発を行います。 ●学校等における健康教育【学校保健等との連携】 ●地域での教育（大人による見守り等）
市, 医療機関等	<ul style="list-style-type: none"> ●禁煙を希望する人に禁煙方法についての具体的な情報提供や健康教育・啓発，健康相談等の支援（禁煙サポート）を行います。
市	<ul style="list-style-type: none"> ●市では，すべての取り組みにおいて， <ul style="list-style-type: none"> ・各種店舗等での啓発（啓発物の配布・掲示等） ・各種媒体による啓発（広報紙，HP，回覧等） ・各種健康啓発（教育）事業，各種個別健康相談事業，各種健康診査事業を通じた啓発（講演会，健康教育等） ・母子保健各種事業での教育・啓発・相談・指導（母子健康手帳の発行，母親・両親学級，マタニティクッキング教室，離乳食教室，新生児訪問，幼児健康診査，2歳の歯☆ピカランド等における啓発・指導等） <p>の活用を図ります。</p>

※「企業」には，医療機関を含みます。

《柏市が取り組んでいる「喫煙」に関する既存事業【抜粋】》

事業名 [担当部署]	事業の目的等
タバコ対策 [保健所地域健康づくり課]	喫煙と受動喫煙に関連した疾病，障害，死亡を減少させる。
ぼい捨て等防止事業 [環境部環境サービス課]	路上喫煙及びごみのぼい捨て等を防止する。